

校内研修計画

甲州市立塩山北小学校

1 学校課題

塩山北小学校は、塩の山の東に位置し、塩山温泉や向嶽寺など古くから文化的に栄えてきた地域にある。地域や家庭の学校教育への関心は高く、そのことは様々な行事等への関わりからも実感することができる。しかし、一人一人の子供たちが置かれている状況は多様であり、学校課題として対応していく必要を感じている。昨年度は、「主体的に学び、考える児童の育成～算数科の授業改善と学習環境の整備を通して～」を研究テーマとして、「北小スタンダード」を基盤とした子供たちの学習環境の整備と並行して授業改善を行ってきた。特に、算数科における「授業の構造化」を進めることにより、児童に授業の見通しをもたせること、既習事項の活用、思考を引き出し整理する操作活動や自力解決の保障、思考を深める視点の与え方、効果的な伝え合う活動の取り入れ方など、様々な指導が有効であることが明らかになった。全国学力学習調査の結果分析では、与えられた情報から関係を捉えたり、その理由を書いたりすることに課題があることが分かった。これまでの研究や取組の中で一定の成果をあげることができているが、子供たちが主体的に考え、自らの根拠を明確にしながらか自己表現していくためには、さらに継続していく必要であると考えている。

2 研究主題 「主体的に学び、考える児童の育成」

～ICT 機器を活用した授業づくりを通して～

3 主題設定の理由

(1) 社会的な課題から

新学習指導要領（平成29年3月告示）第1章総則の第2「教育課程の編成」では、「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」として、「(1) 各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。」を掲げている。また、「何を学ぶか」といった学習内容だけでなく「何ができるようになるか」といった資質・能力を基に内容が構成され、その定着のため「主体的・対話的・深い学び」の実現が掲げられている。

平成31年度山梨県学校教育指導重点においては、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を各教科等で明確にし、ICTの活用等を進めながら「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ることが記されている。

子供たちを取り巻く社会はめまぐるしく変化しており、情報化やグローバル化など急激な変化の中にあっても、未来の担い手となる子供たちには、そのために必要な資質・能力を確実に身に付けることが望まれている。先述した学校課題やこれからの社会的課題に鑑みて本研究主題を設定した。

(2) 学校教育目標の具現化から

学校教育目標『心豊かで生きる力のある子ども』が目指す児童の姿は、「思いやりのある、心豊かな子ども」「自分で考え主体的に判断して、行動できる子ども」「体をきたえ、生命を大切にする子ども」である。学校生活の中で大半を占める授業での時間を通して、子ども達が主体的に学ぶ姿勢を身につけ、多様な人との対話を通じて考えを広げることで、学校生活全体での主体性や思いやりにつながり、学校教育目標の目指す児童像に近づくものであると考えている。

(3) これまでの研究から

昨年度は研究主題を「主体的に学び、考える児童の育成～算数科の授業改善と学習環境の整備を通して～」として研究を進めてきた。「主体的、対話的で深い学び」について理論研究を出発点として、授業改善部会では「授業の構造化」を基に授業の改善について実践を通して学び合い、授業改善につなげてきた。学習環境部会では、これまで各学年独自に行われてきた指導を、発達段階に応じながら全校で統一した「北小スタンダード」を作成し、子ども達の学びのスタンダードを築いてきた。本校は、今年度から2か年計画で国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の委託研究の協力指定を受けている。これまでの集団づくりや学習環境の改善を継続しながら、さらにICT機器を活用することで「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図り、資質・能力の向上を目指していけるよう授業の工夫・改善をしていきたい。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 具体的内容

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業づくり（理論研究）
- ・ICT 機器（タブレット）活用のための学習会
- ・ICT 機器（タブレット）を活用した授業研究
- ・Q-Uアンケートの実施2回とK-13法による分析
- ・家庭学習と授業を有機的に結び付ける取組

(2) 研究の方法

- ・講師を招聘しての学習会
- ・ワークショップ型, 授業研究会
- ・一人一実践の参観
- ・「北小スタンダード」の継続した取組
- ・Q-Uアンケート結果を分析し, アタックシートを活用した学級集団づくり
- ・「家庭学習の手引き」「家庭教育・子育てQ&A」を活用した効果的な家庭学習の提案

年間校内研修計画

平山 沙織

| 回 | 月 | 日 | 研究内容 | 備考 | T・C要請 |
|----|----|--------|--------------------------------|--------|-------|
| 1 | 4 | 10 (水) | 昨年度研究について 本年度研究の方向性と概要 | 全体会 | |
| 2 | | 17 (水) | 本年度校内研究の計画と研究の組織づくり (部会研究について) | 全体会 部会 | |
| 3 | 5 | 15 (水) | タブレット講習会 (神金小学校) | 全体会 | |
| 4 | | 29 (水) | Q-U結果分析・アタックシートづくり | 部会 | |
| 5 | 6 | 5 (水) | 学習会 | 全体会 | |
| 6 | 7 | 3 (水) | 部会研究 | 部会 | |
| 7 | | 10 (水) | 部会研究 | 部会 | |
| 8 | 8 | 23 (水) | 特別支援教育研修会・教育課程環流報告会 | 全体会 | |
| 9 | 9 | 4 (水) | 部会研究 | 部会 | |
| 10 | | 11 (水) | 授業案の検討 | 全体会 | |
| 11 | 10 | 2 (水) | 部会研究 | 部会 | |
| 12 | | 23 (水) | 授業案の検討 | 全体会 | |
| 13 | | 30 (水) | 授業提案・研究会 | 全体会 | ○ |
| 14 | 11 | 13 (水) | Q-U結果分析・アタックシートづくり | 部会 | |
| 15 | 12 | 11 (水) | 部会研究のまとめ 本年度研究のまとめ | 部会 全体会 | |
| 16 | 1 | 29 (水) | 本年度研究の成果と課題 | 全体会 | |
| 17 | 2 | 26 (水) | 研究紀要作成 | 全体会 | |
| 18 | 3 | 4 (水) | 来年度の研究に向けて | 全体会 | |